

2023 年度

看護師特定行為研修
募集要項



社会医療法人友愛会
友愛医療センター

研修概要

1 特定行為研修の基本理念

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者・国民や医師・歯科医師その他の医療スタッフから期待される役割を十分に担うことが求められます。

当院では、最良の医療サービスの提供・地域に根差し地域医療に貢献するために、高度な臨床実践能力を發揮し、安心・安全な医療サービスの提供ができる人材育成を目指しています。

1. 学んだ知識・技術を臨床へとつなげる
2. 患者や医療従事者の信頼の輪を広げる
3. 「職業人」としての成長を実感する

2 研修の教育理念

当該研修を受講した看護師が、自己成長とともに人間力を高め、地域住民・国民から期待される役割を十分に發揮できることを目指します。

研修目標

1. 多様な臨床場面において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、手順書に準じた特定行為を判断するための基本的な能力（知識・技術・態度）を養う
2. 当該特定行為が必要な場面において、患者の安心に配慮しつつ安全に実行できる能力を養う
3. 看護師の役割を再認識し、問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を養う
4. 看護師として成長を実感し、あらゆる場面において柔軟に対応できる能力を養う

3 受講資格

受講者の要件は下記のとおりです。

1. 日本国の看護師免許を有すること
2. 看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
3. 所属長（看護部長または同等職位の所属長）の推薦を有すること
4. 研修で開講される講義・演習・実習を友愛医療センターで受講可能な者
5. 看護職賠償責任保険に加入していること

4 定員

定員：12名（内 院外受講生枠 若干名予定）

※応募状況によっては開講されない区分別・領域が発生する可能性があります

※多数の御施設から、応募が集中した際は、厳選な審査の上決定いたします

5 研修期間と募集時期

研修期間：1年（在籍期間は、最長2年間とする）

募集時期：年1回（5月）

6 履修免除について

指定研修機関において既に履修した共通科目・区分別科目については、特定行為研修管理委員会で

認められた場合、履修を免除とすることができます。履修免除を希望される方は、出願時に指定研修機関において履修した科目を修得したことを証明する書類（修了証等）の控えをご提出ください。

7 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別コース」に分かれており、講義、演習または実習によって行われます。

1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

[研修期間：6か月]

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29.5	2		1	32.5
臨床推論	31	3	10	1	45
フィジカルアセスメント	29.5	2	13	1	45.5
臨床薬理学	42.5	3		1	46.5
疾病・臨床病態概論	34.5	6		1	41.5
医療安全学 / 特定行為実践	18	15	11	1	45
合計	185	31	34	6	256

- * 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格すること
- * 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと
- * 実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと
- * その後、科目修了試験に合格すること

2) 区分別コース・パッケージ：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

① 術中麻酔管理領域パッケージ

[研修期間：6か月]

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブ位置の調整	9	—	5 症例	1 (OSCE)	10 時間+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸器からの離脱	10.5	6	各 5 症例	1.5	18 時間+ 各 5 症例
動脈血液ガス分析関連 直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	14.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	16 時間+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 脱水症状に対する輸液による補正	7.5	3	5 症例	1	11.5 時間+ 5 症例
術後疼痛管理関連 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与および投与量の調整	4.5	3	5 症例	1	8.5 時間+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	9	3	5 症例	1	13 時間+ 5 症例

② 区分別

[研修期間：6か月]

特定行為区分		時間数				
		講義	演習	実習	評価	合計
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブ位置の調整	9	—	5 症例	1 (OSCE)	10 時間 + 5 症例
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	15.5	12	各 5 症 例	2.5	30 時間 + 各 5 症例
3	胸腔ドレーン管理関連 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	9.5	3	各 5 症 例	1.5	14 時間 + 各 5 症例
4	腹腔ドレーン管理関連 腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	7.5	—	5 症例	1	8.5 時間 + 5 症例
5	創傷管理関連 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	32.5	—	各 5 症 例	1.5 (OSCE)	34 時間 + 各 5 症例
6	創部ドレーン管理関連 創部ドレーンの抜去	6	—	5 症例	1	7 時間 + 5 症例
7	動脈血液ガス分析関連 直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	14.5	—	各 5 症 例	1.5 (OSCE)	16 時間 + 各 5 症例
8	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	9.5	6	各 5 症 例	1.5	17 時間 + 各 5 症例
9	術後疼痛管理関連 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与および投与量の調整	4.5	3	5 症例	1	8.5 時間 + 5 症例
10	循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整、持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整、持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	14	15	各 5 症 例	3	32 時間 + 各 5 症例

- * 区分別コースについては、最大3区分(栄養及び水分管理にかかる薬剤投与関連は必須)まで選択可能受講
- * 履修免除希望者については最大2区分まで選択受講可能
- * 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格すること
- * 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと
- * 実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと
- * OSCEのある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格すること

8 受講の流れ

共通科目を修得後、選択したパッケージまたは区分別科目を履修します。パッケージまたは区分別科目毎に筆記試験、実施期間が異なります。半年間に2~4回の筆試験及び実習期間の設定があるため、勤務調整しながら受講スケジュールの調整が可能です。受講が決定した際に、個別に受講スケジュールの相談に応じます。(全体の受進行表、研修の進捗表を参照)

9 研修場所

社会医療法人 友愛会 友愛医療センター

- * 適切な進捗管理、医療安全管理に配慮し、全ての講義・演習・実習・OSCEは原則当センター内で行います。
- * 院外からの受講生の臨地実習については、自施設実習も可能です。自施設実習を行うためには、当該施設を当院の連携協力施設として、連携協力体制(指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制)に関する書類を九州厚生局に提出する必要があります。

10 要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

1. 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること
2. 共通科目修了後、選択した区分別科目またはパッケージを履修し、観察評価および科目によっては実技試験に合格すること
3. 研修修了について、特定行為研修管理委員会で承認が得られること

- * 本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

11 提出書類

1. 提出書類 ※提出された書類の返却は対応しません

- ① 願書
- ② 履歴書
- ③ 推薦書(看護部長または同等職位の所属長)
- ④ 実践活動報告書 ※新規受講者のみ
- ⑤ 看護師免許の写し
- ⑥ 修了証等控え ※履修免除希望者のみ
- ⑦ 症例レポート1件(書式自由) ※履修免除希望者のみ

2. 提出期間

2023年 5月15日(月) ~ 2023年 5月26日(金) ※17:00必着

3. 送付先

〒901-0224

沖縄県豊見城市字与根50番地5 社会医療法人友愛会 看護師特定行為研修係

*必ず「郵便書留」で送付するか、直接持参のこと

問合せ窓口: 法人事務局 人事部 人材開発課 電話: 098-850-3811 (代表)

12 選考方法および日時書類選考および面接にて行います

①1次選考 書類審査

書類審査通過後、受講審査料として11,000円を徴収させていただきます。

*一旦収めた受講審査料は原則として返金いたしませんのでご了承ください

②2次選考 面接

面接日時：2023年 6月 21日（水）予定 *面接日については変更の可能性があります。

③合格発表：2023年 7月 7日（金）予定

選考結果については、本人宛て簡易書留速達にて郵送いたします。

電話やFAXでの可否のお問合わせには応じません。

13 受講手続きと納付金について

受講手続き詳細については以下をご参照ください。なお、納付金（消費税込）は、受講手続き終了後、期間内に指定口座へお振込みをお願いします。

1. 受講手続き期間

2023年 7月10日（月）～ 2023年 7月28日（金）

2. 納付金 一括納付

共通科目		385,000円
パッケージ	術中麻酔管理領域パッケージ	385,000円
区分別	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	44,000円
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	99,000円
	胸腔ドレーン管理関連	44,000円
	腹腔ドレーン管理関連	33,000円
	創傷管理関連	110,000円
	創部ドレーン管理関連	22,000円
	動脈血液ガス分析関連	66,000円
	栄養および水分管理に係る薬剤投与関連	55,000円
	術後疼痛管理関連	33,000円
	循環動態に係る薬剤投与関連	99,000円

※下記のパッケージ、区分別を選択した場合、別途20,000円教材/実習費を頂戴いたします。

※別途料金については、該当する区分が複数発生した場合でも追加料金は発生しません。

術中麻酔管理領域パッケージ

胸腔ドレーン管理関連

腹腔ドレーン管理関連

創傷管理関連

創部ドレーン管理関連

動脈血液ガス分析関連

3. 納付先

名 義：イ ユウアイカイ リジチョウ ヒガクニキ
義：医) 友愛会 理事長 比嘉国基

銀行名：沖縄銀行

支店名：豊見城支店

預金種別：普通

口座番号：1102970

- * 一旦収めた受講料は原則として返金いたしませんのでご了承ください
- * 研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります

14 募集受講生の今後の日程

2023年10月2日 入講式・オリエンテーション

2023年10月3日 共通科目受講開始

2024年3月上旬 共通科目修了判定

2024年4月1日 区分別科目受講開始

2024年9月上旬 区分別科目修了判定

2024年9月下旬 修了式

●個人情報の取り扱いについて

友愛医療センターでは「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたってご提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当センターが取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。



お問合せ先

社会医療法人 友愛医療センター

〒901-0224

沖縄県豊見城市字与根 50 番地5

TEL. 098-850-3811 (代表)

看護師特定行為研修係